



旧青木小学校のエドヒガン



宗源寺のエドヒガン



寺子のエドヒガン

いざや いざや 見にゆかん...

## 春はやっぱり「サクラ」

4月は新しい始まりの季節です。さまざまな出会いや環境の変化など、何かと慌ただしく過ぎていきますが、そんな始まりの季節を彩るものといえば、やはり「サクラ」。サクラは千年以上も前から、人々に親しまれ、愛でられてきました。市内にも素晴らしいサクラの古木があり、この時期きれいな花を咲かせます。今回は、春の訪れを伝えてくれる「サクラ」のお話です。

### 私のまちの 近 世 遺産

#### Topic

#### エドヒガンって知ってる？

市の文化財に指定されているサクラの多くは「エドヒガン」という種です。エドヒガンは春の彼岸ごろに花を咲かせることから、その名がつけられています。サクラの開花宣言の標本木であるソメイヨシノより開花時期が早いので、お見逃しなく！

市の文化財に指定されているサクラは「寺子のエドヒガン」・「宗源寺のエドヒガン」・「法真寺のエドヒガン」・「正観寺のシダレザクラ」・「乃木神社のシダレザクラ」・「旧青木小学校のエドヒガン（4本）」の6つで、どのサクラも樹齢100年以上です。

なかでも寺子のエドヒガンは、推定樹齢350年を数え「とちぎの名木百選」にも選ばれており、地元では「寺子のサクラ」として親しまれています。

一方、旧青木小学校のエドヒガンは、植樹時期や樹齢ははっきりとは分かっていませんが、昭和10年（1935）の写真に既に立派な大木として写っています。比較的若い木ではありますが、自然木には珍しい大木で、今まで子どもたちを見守ってきました。

サクラの名所でのお花見も良いですが、お花見で市の文化財を巡るというのもまた一興ではないでしょうか。

### 目指せ！「日本遺産」

日本遺産 (Japan Heritage) とは、文化財を始めとした地域の歴史的魅力や特色を地域活性化に活用しようという文化庁の事業です。点在する文化財を「ストーリー」として結びつけブランド化を図るもので、文化庁では、2020年までに100件の認定を掲げています。現在、大田原市・那須町・矢板市の3市町とともに明治期の開拓を軸としたストーリーを作成し、日本遺産認定を目指しています。詳しくは [日本遺産](#) [検索](#)

お知らせ